



# オーストラリア直送レポート

**Vol.8**

2016.8.16 最後の校外研修！市長を表敬訪問【DS】

日本語が上手な小学生達との交流【PS】

- ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課：林  
(引率教諭) 吉備中学校：西岡
- パーマストーン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課：宮地  
(引率教諭) 白馬中学校：熊ノ郷

【DS】市内研修2日目！ 今日で校外研修は最終日です。朝から研修生はあいも変わらず元気なのですが、バス等への移動がダラダラしていること、伝達事項をきちんと聞いていないことなど、切り替えが出来ていない研修生が気になりました。今日は、ダーウィン市の中心であるCity Areaでの研修です。DS校からはバスで約30分程度の位置にあります。

ノーザンテリトリー準州のパラメントハウス（州議事会堂）の前でバスを降りて、まずは近くのショッピング街（お土産屋）で1時間半の自由行動。研修団としては、この時間以外にお土産購入の時間を設けていません。なので、研修生の目は真剣そのものでした。一通りにお店を見てから、「これは誰と誰のお土産」「3つで20\$は安い」と言う男子研修生もいれば、「これは自分用で誰とお揃い」「少し過ぎたけどお父さんの誕生日用」という女子研修生もいました。保護者の皆様、研修生はそれぞれの考えや思いを持って購入した物ですので、日本に帰った時にご覧になって暖かい目で見てください。また、誕生日としてお土産を受け取られるお父様、私自身、子どもをもつ身として大変うらやましい思いです。

その後ダーウィン市の庁舎に移動し、ダーウィン市の市長さんと面会させて頂きました。当初予定していた時間よりも遅い面会となりましたが、研修生達は予定時間どおりにいかないスタイルに慣れてきているので、静かに待機していました。市長さん（メイヤー）は大変お忙しい方ですが、議会場で議会や歴代の市長さんのこと、オーストラリアの行政システム、市の役割等を説明してくれました。現在の市長さんは2人目の女性市長で、お父さんも市長さんだったそうです。市長さんの証である特別なネックレスを研修生にかけさせてくれたり、ダーウィン市の帽子を記念に頂きました。研修生は歓迎の意味で用意してくれたケーキ、フルーツにも喜んでいました。もちろん綺麗に完食しました。市長さんとの面会後は、ウォーフロントの公園で昼食を食べました。

午後は研修生達が待ち望んでいた「Wave Pool」で遊びました。どの様なプールかと言えば名前のとおり「波のプール」なのですが、日本では中々体験できない大きな波が次々と起こり、研修生は「うわー」「すごーい」などの声を上げながらビート板で波に乗ったり、大きな浮き輪でプカプカ気持ち良さそうに浮かんでいる研修生もいました。約一時間半泳いだのですが、決められた時間までに着替え終わっていない者や移動をダラダラする研修

生がいたので、その場で注意しました。また、DS学校に戻ってからも、DS校で研修できる時間が限られたものであり、その貴重な時間を有効に使って欲しいと話しました。この研修に参加している研修生ならきっと分かってくると信じています。研修生は、いつにもまして今日はぐっすり眠れるのではないのでしょうか。DS校での研修も残り3日です。明日からは、授業研修に戻るので切り替えて過ごして欲しいと思います。(林)

今日も昨日に引き続き校外研修でした。今日は午前中はダーウィン市内でショッピングをした後、ダーウィンの市長さんにお会いしました。ハツラツとされた女性の市長さんから貴重なお話をお聞かせいただき、ケーキやフルーツなどをいただいたうえに、お土産に帽子までいただきました。さらに市長の象徴である黄金色に輝く首飾りを貸していただき、研修生は首飾りに夢中になり、それをつけさせてもらい写真撮影をしていました。そして最後に市長さんと記念撮影し、市長さんのオフィスをあとにしました。市長さん、お忙しい中お会いしていただき、最高のおもてなしをありがとうございました。

その後は先程の場所で少しショッピングをし、Water Front という人工波が押し寄せるダーウィンで最も有名なプールに徒歩で移動。研修生は水着に着替えた後、プールのそばにある芝生で昼食のサンドイッチをほおばりました。早く食べ終わった人からプールに行けるということで、研修生は急いでサンドイッチを口に入れている様子でした。楽しみにしていたプールでは、押し寄せる高い波に大はしゃぎ。とても楽しそうに、素敵な笑顔を見せていました。私も入らせてもらえるということで、研修生とともに楽しませてもらいました。押し寄せる波は本当に高く、大人の私でさえ飲み込まれそうになる程でした。プールを楽しんだ後は、バスでドリップストーン校に戻り、研修生はホストの家に帰宅しました。

今日の研修では、少し心配なところが見受けられました。朝から名札を持ってくるのを忘れてしまったり、集団行動の時に遅れる、ショッピングのときにカバンを店に忘れてしまう、ということがありました。カバンについては、幸い店の人がカバンを見つけて持っていてくれたのでよかったですが、危ないところでした。残りの期間を楽しく過ごすためにも、もう一度気を引き締め直し行動してほしいと思います。

校外研修は今日で終わり、明日からは校内研修です。研修生の行動に期待したいと思います。吉備中生、Security is the greatest enemy, do not let your guard down! (西岡)

【PS】今日は Durack Primary School へお邪魔しました。この学校は日本語教育にとっても力を入れている小学校で、日本語の先生が2名いました。日本人とフィリピン人の女性の先生でした。お話を聞くと、公立の小学校では日本語教育に関してはトップクラスということでした。アジアの言葉を指導するにあたり、この学校は日本語を指導することにし、政府からかなりの補助金をもらっているそうです。図書室や教室に、生徒達を書いた日本語のものが張り出されていたり、「こんにちは」「ありがとうございます」と挨拶をしてくれる子ども達に驚かされました。

学校での活動は、研修生達は5つのグループに別れて、生物、書道、クリケット、ダンス、オーストラリアの童話の読み聞かせのようなクラスに交代しながら参加しました。ダンスのクラスでは日本の「炭鉱節」を習いました。日本の踊りをオーストラリアで習うとは思っても

しませんでした。日本舞踊にも関わらず、恥ずかしそうにする日本の研修生と、声を出して元気に踊る現地の生徒達との違いを感じました。こういった、物事に取り組む姿勢を真似てもらいたいと思いました。生物のクラスでは、教室で飼っているニシキヘビを、触ったり首に巻いたりさせてもらいました。学校の教室でニシキヘビと触れ合うとは思っていませんでしたので、一部の女子研修生達は顔が引きつっていました。オーストラリアならではの経験ができたと思います。書道のクラスでは日本人の先生に、現地の生徒達の指導を頼まれました。言葉で説明しにくいので研修生達は戸惑っていましたが、現地の生徒達は日本の小学生が習わないような難しい漢字を筆と墨で書いていました。ただ、書き順という概念はないようで、絵として描いているような感じでした。ランチの前には、図書室で「かぐや姫」の劇を披露しました。オーストラリアで3回目です。たくさん練習してきたので何回も披露できて満足です。ランチは日本語クラスの生徒達といっしょにしました。日本語についてどんどん聞いてくれるので、日本語の授業みたいになっていました。研修生達は一生懸命日本語で自己紹介をする小学生の可愛らしさに頬がゆるんでしまっていました。

ランチタイムの後は、有田川町の小学校を紹介するDVDを見てもらいました。午後のクラスも日本語クラスの子たちとともに、活動しました。出欠確認の返事が「こんにちは、先生」で欠席者がいる時は、「きていません」と伝えていました。研修生達は日本語で返事をする生徒達に感心していました。それから、相撲のようなゲームや折り紙をいっしょにしました。英語と日本語を使っていっしょに活動する研修生と子ども達を見て、心が和んだクラスでした。研修期間も残り少なくなってきましたが、研修生達は体調をくずすことなく全員元気に取り組んでくれています。明日は、午前中はパーマストーンシニアカレッジで、午後はパーマストーン市長さんにお会いしに行きます。(宮地)

今日、初めてデュラック小学校を訪れました。新しい学校を訪れるのは、ここで4校目。新しい場所にも緊張することが少なくなり、子供達はスムーズに授業に取り組み始めました。この小学校では日本語教育に力を入れて、1年生から日本語が好きな子が多いと、日本語クラスの先生がおっしゃっていました。先生の言われるように、廊下で会った2年生くらいの子供達が、簡単な日本語の挨拶や数字を生き生きとした表情で話してくれました。日本でも、もうすぐ教科としての英語教育が小学校で始まります。外国語を学ぶことは楽しいと思えるような授業作りをしていく必要性を改めて感じました。

授業では、盆踊りや書道、折り紙などをしたのですが、日本の子供達にとっては、自国の文化を外国人の視点で考える良い機会になったと思います。外国に来て初めて、自分がどれほど日本のことを知らなかったのか気づくことがよくあります。英語や外国の文化を学ぶことはもちろん大切ですが、日本の文化を世界に発信できるようになってもらいたいなあと感じます。(熊ノ郷)

(写真を次ページに掲載しています)

